

学校運営協議会委員 8名(敬称略)

猪俣 聡	上溝高等学校 校長
小泉 力也	東海大学非常勤講師 上溝高等学校第29代校長
小山 美代恵	同窓会副会長
斎藤 信幸	本校PTA会長
郡司 孝明	相模市立上溝中学校校長(欠席)
森 仁	上溝商店街振興組合役員(欠席)
永山 一雄	上溝公民館長
山口 伸朗	神奈川県更生保護協会副理事長 神奈川県就労支援事業者機構副会長

学校職員

岸 慶郎	事務長
土屋 朋之	教頭
内田 憲夫	生徒活動グループ
安田 直樹	学務グループ
笠原 博行	支援相談グループ
山下 松男	キャリアグループ
山田 美穂	地域連携グループ
谷口 晃一	学校管理グループ
中山 典子	地域連携グループ(記録)

1 校長挨拶

第1回上溝高等学校運営協議会ということで、どうぞ、皆様の貴重なご意見をいただき、より良い学校づくりを推進していこうと思っております。本日はよろしくお祈りいたします。

2 学校運営協議会委員にかかわる委嘱状

3 委員・関係職員自己紹介

4 本校学校運営協議会概要について

(教頭) 資料1

今年度から学校評議員会から学校運営協議会になりましたが、会議を公開することや、委員の皆様が学校運営について、承認していただく点、また各部会の設置が主な変更点です。引き続き委員の皆様のご意見をお伺いし学校運営に生かしていくことには、変わりありませんので、よろしくお願いいたします。

5 会長 副会長の選任

小泉委員に会長をお願いすることになりました。

校長先生に副会長を引き受けていただくことになりました。

6 学校教育計画及び学校目標について

(校長) [資料2](#)

資料2をご覧ください。今年度の学校目標と具体的な方策が示されています。

後ほど詳しい話は、グループリーダーから話があるかと思いますが、要点のみお話いたします。

4年間の目標としては大きく分けて以下の5点になります。

① 教育課程・学習指導

- ・主体的な学習意欲を高め、組織的な授業改善を行い、自立と共生の能力を兼ね備えた社会人の基礎となる力を身につけさせる。

② 生徒指導・支援

- ・丁寧なひとりひとりに応じた指導を体系的に行う。
- ・部活動を活性化させる。

③ 進路指導・支援

- ・一人ひとりの適性に応じたキャリア教育を充実させる。

④ 地域等との協働

- ・ボランティア等の地域との連携を深めながら生徒の社会性・主体性を育てる。

⑤ 学校管理・学校運営

- ・避難訓練を通して防災の意識といのちの大切さを理解し、状況に応じて行動できる人間を育成する。

7 令和元年度の取組みについて(各グループリーダーより)

(1) 学務グループ [資料3](#)、[資料4](#)、[資料5](#)、[資料6](#)

- ・自分の教科・他教科の授業を見学し、参考にする期間があり、教員が課題を持って取り組んでいる。
- ・11月1日に研究授業を行う。
- ・新科目「公共」についての研究開発校となっている。

(2) 生徒活動グループ [資料7](#)、[資料8](#)

- ・部活動紹介の方法を体験方式に変えてより一層の部活動の充実を図っている。
- ・本校の生徒会は外部へむけての取組みが非常に積極的である。

(3) 支援相談グループ [資料9](#)、[資料10](#)、[資料11](#)

- ・生徒・保護者ともに相談できるスクールカウンセラーに月2回程度来校していただいている。
- ・上溝南高校とも連携しており、1日4～6件の利用がある。
- ・生活面の指導・交通指導(自転車の安全な乗り方)を引き続き指導していく。
- ・「いじめ」の問題は全教員が組織的に対応できるようにしている。教員も細心の注意をして生徒の言動や行

動面に気を付けている。どんな小さなことでも見逃さず対応することが大切であると認識している。

(4)キャリアグループ **資料12**

- ・進学指導だけでなく社会性、勤労意欲を養いながら高みを目指す。
- ・就職や専門学校を目指す生徒にも細やかな指導を行っている。

(5)地域連携グループ **資料13** **資料14**

- ・ボランティア活動に多くの生徒が積極的に参加している。
- ・地域清掃を年3回行っている。
- ・児童館保育園・選挙・こども食堂でボランティア活動にも参加している。
- ・老人ホーム・デイケアセンターに年3回福祉委員会が訪問している。
- ・上溝小学校との交流会を行っている。
- ・上溝高校の情報をチラシ、学校案内・学校説明会などを通じて発信している。

(6)学校管理グループ

- ・生徒先生がいきいきとした活動ができるように環境整備に心がけている。
- ・防災訓練の充実をめざし、災害頭上訓練や防災訓練指導できる教員育成のため研修にも参加している。

8 その他・意見聴取(●:学校運営協議会委員 ○:学校職員)

●対話的な学びを促進させるための授業改善としてどのような取り組みをされていますか。

○一例としては、現在、授業観察週間であり、各教員が他の教員の授業を観察して授業力向上へと結びつける取組をしています。各自の観察結果を学務グループがまとめて学校全体の課題を割り出し、学校全体でその課題に取り組むをします。その課題を念頭に11月1日に研究授業を秋に行い、協議していきます。

●「探究活動」とはどのような内容に変わりますか。また、テーマはどのようなものがありますか。

○新学習指導要領の改訂により科目として令和4年度より対応していきます。

1年生の例をあげると、テーマを決めてやっていけるよう「総合的な探究の時間」を使って実施していきます。

●学校内でのWi-Fiの整備が必要だと思いますがどのような状況でしょうか。

○夏休みに神奈川県一斉にWi-Fi、スマホ、タブレットの導入が予定されています。

●スクールカウンセラーは何時間滞在していますか。上溝南と連携はしていますか。保護者にもカウンセラーが必要ではないでしょうか。

○スクールカウンセラーは上溝南と連携して来校してもらっています。

保護者の方も積極的に現在も利用していただいています。上溝南高校でカウンセリングを受けることも可能です。

●カウンセリングの申し込み方法について、「そのほか話しやすい先生に申し出てください」というのはとても

いい表現でありカウンセリングを申し込みやすいですね。さらに、もっとやさしい言葉で言い換えるとわかりやすいのではないのでしょうか。

○貴重なご意見ありがとうございます。

●センター試験を昨年度受けた人数は何人ですか。

○82 人です。

●上溝中学での茶摘み参加の詳細をお伺いしたいです。

○例年、校長、PTA 会長をはじめ教員や生徒も参加しています。今後もより多くの生徒が参加できるよう呼び掛けていきたいです。

●今後全日制普通科という特色をいかして上溝高校はどのようなカリキュラムを作るのでしょうか。

○新学習指導要領(令和4年度から施行)のカリキュラムに対応しつつ上溝高校のカリキュラムを作っていきます。

●学校紹介のチラシやパネルなどは中学生にもっとわかりやすく、アピール力の高いもの(大きい写真など)を多く取り入れると訴求力があるのではないのでしょうか。例えば、チラシに「リベラルアーツ的な発想で組み立てられたカリキュラム」とあります。「リベラルアーツ」という言葉ではなく中学生にわかるような平易な表現にしたほうが良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。

○今後作成するチラシ・パネル等は、本校の魅力が、中学生だけではなく、見ていただいた方、だれにでもよく伝わるような表現を吟味し、また視覚的にアピール力の高い大きい写真・大きい文字などを使用するなどの工夫をしていきます。